

# 住宅改修後のやり直し・再評価シート

施工後・導入後に「使えない／改善しない」と分かったときの再訪問用

対象者： \_\_\_\_\_ 実施日： \_\_\_\_\_ 評価者： \_\_\_\_\_ 場所： \_\_\_\_\_

## 1 | 安全確認：危険な設備は評価より先に使用を止める

- ☐ 手すり・踏み台・固定部にぐらつき／破損／明らかな施工不良がある → 使用を中止し、施工事業者などへ確認  
☐ 安全に動作確認できる → 次へ進む ☐ 転倒リスクが高く再現が危険 → 無理に再現しない

## 2 | 失敗場面を1つに固定する

場所： ☐ 玄関・段差 ☐ トイレ ☐ 浴室 ☐ 居室・廊下 ☐ その他（ ）

失敗場面

例：トイレで下衣を上げるとき／浴槽をまたぐ一歩目／玄関を降りる一歩目

観察した失敗

手が離れる・足が止まる・ふらつく・介助者が回り込めない、など具体的に記録

## 3 | 原因を切り分ける

分類： ☐ 動作・適合のズレ ☐ 施工・制度上の確認が必要 ☐ 両方

観察： ☐ 把持位置 ☐ 足運び ☐ 支持・バランス ☐ 設備干渉 ☐ 介助者の立ち位置・足場 ☐ その他

原因メモ： \_\_\_\_\_

## 4 | 追加工事の前に、安全に戻せる調整を試す

試行： ☐ 福祉用具 ☐ 配置 ☐ 立ち位置 ☐ 動作手順 ☐ 介助手順 ☐ その他

試したこと

一度に複数を変えず、何を変えたか分かるように記録

結果： ☐ 改善 ☐ 一部改善 ☐ 変化なし ☐ 悪化／中止

## 5 | 再工事・再相談の要否を決める

追加工事： ☐ 不要 ☐ 要検討 相談先： ☐ 施工事業者 ☐ ケアマネジャー ☐ 自治体 ☐ その他

再工事・相談の理由： \_\_\_\_\_  
介護保険を利用する追加工事・変更は、着工前に関係者・自治体へ確認する。

## 6 | 施工・調整後に再評価し、4点で記録する

場面

失敗

試行

次の対応

再評価： ☐ 介助量が減った ☐ 動作が安定した ☐ 本人・家族が継続して使える ☐ 再相談が必要

使い方のポイント

- ・「トイレが危険」ではなく、どの動作のどの瞬間で崩れるかまで具体化する。
- ・施工後の問題を、動作・適合のズレと施工・制度上の問題に分ける。
- ・成功条件が分かる前に追加工事を重ねない。安全を確保できない場合は使用を中止して相談する。

参考：厚生労働省「福祉用具・住宅改修」 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000212398.html>  
公益財団法人テクノエイド協会「福祉用具シリーズ Vol.14 手すりを上手に使う」 <https://www.techno-aids.or.jp/howto/>  
本シートは住宅改修後の再評価を整理する補助資料です。個別の施工・給付可否は関係者・自治体等へ確認してください。